

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 23 年 10 月 11 日(火) 受付分より

《検査要項》【1】

検査項目名称	p53	
検査コード	7693・血液	7694・骨髓液
JLAC10	8B475 - 0000 - 019 - 841 - 49	8B475 - 0000 - 046 - 841 - 49
診療行為コード	160060710 (染色体検査) 及び 160060870 (分染法加算)	
検体量	全血 3.0mL	骨髓液 0.5mL
保存・容器	冷蔵・H2	冷蔵・M1
実施料(判断料)	2600(+400)点(血液) 注)分染法を行った場合は、400点を加算する。	
所要日数	6～10日	
検査方法	FISH法	
基準値・単位	設定なし	
備考	重複依頼不可、採血当日中に搬入 受付曜日：月～木 休日の前日、前々日は受託不可 事前連絡必要、血液疾患染色体依頼書必要	

保険収載名称：染色体検査(すべての費用を含む)

保険注釈：(1)染色体検査の所定点数には、フィルム代、現像代、引伸印画作成代を含む。

(2)染色体検査の「注」の分染法加算については、その種類、方法にかかわらず、1回の算定とする。

《解説》

17番染色体に存在するp53遺伝子は癌抑制遺伝子であり、その異常は固形腫瘍のみならず造血器腫瘍にも関わっています。p53(17p13.1)領域の欠失は、慢性リンパ性白血病(CLL)で7%程度しか認められませんが、17pの欠失は化学療法に抵抗性を持つということから高リスク群に分類され、治療方針の選択に重要であると言えます。

本項目は、p53(17p13.1)領域の欠失をFISH法により解析する検査です。

《 検査要項 》 【 2 】

検査項目名称	尿中 L -FABP
検査コード	7695
JLAC10	5C100 - 0000 - 001 - 023 - 01
診療行為コード	160189250
検体量	尿 1.5 mL
保存・容器	凍結 ・ U1
実施料 (判断料)	210 点 (尿・糞便)
所要日数	5 ~ 17 日
検査方法	EIA 法
基準値・単位	8.4 $\mu\text{g} / \text{g} \cdot \text{CRE}$ 以下
報告形態	7695 : 濃度 (ng / mL) 7696 : クレアチニン換算 ($\mu\text{g} / \text{g} \cdot \text{CRE}$)
備考	酸性蓄尿不可

保険収載名称 : ヒト尿中 L 型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP)

保 険 注 釈 : ア ヒト尿中 L 型脂肪酸結合蛋白は、尿中 型コラーゲンに準じて算定する。

イ 原則として 3 月に 1 回に限り算定する。ただし、医学的な必要からそれ以上算定する場合においては、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。

《 解 説 》

L-FABPは、腎臓において近位尿細管に特異的に発現する可溶性蛋白質で、腎臓の再吸収機能を担う尿細管においてエネルギー及び脂質代謝に重要な働きをしていると考えられています。これまでの腎機能マーカーは腎機能障害の破綻の結果を反映するものがほとんどであったのに対し、L-FABPは腎機能障害の程度について経過観察することが可能であり、糖尿病患者においては、糖尿病性腎症の早期診断及び重症化防止の指標となりうると考えられます。